

企業人材ニーズ vs 博士人材シーズ マッチングワークショップ2018

参加者募集

本ワークショップは、企業の人材ニーズと博士人材の技術シーズのマッチングを図り、博士人材を参画企業での研究インターンや、企業連携研究に導くことを目的として実施しています。ご自身の研究が企業でどのように活かせるか、企業ではどのような人材が求められているのか、実際に体感できる絶好の機会です。企業における研究開発にご興味をお持ちの方は、是非ご参加下さい。

2018年

5月10日

木

開催時間

[ワークショップ] 10:00~17:50
[情報交換会] 18:00~19:30

場 所

東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト
(TX柏の葉キャンパス駅より徒歩1分)

参加対象

- ・博士課程の大学院生
- ・修士2年で今秋博士課程に進学予定の方
- ・博士研究員

定 員

25名程度（申込先着順）
※定員に達し次第、申込を締め切ります。

旅 費

近距離旅費の範囲で支給します。

事前準備

現在の研究内容を企業の方に紹介するための
ポスターを準備のこと（様式自由）
※ボードサイズ：縦1900mm×横1200mm

インターン実施

本ワークショップはPCoMSイノベーション創出人材育成事業の一環として実施しています。インターンシップへの支援を希望される方は、「イノベーション創出人材（フェロー）」として登録頂きます。（面談・審査あり）
※詳細は当日説明します。

プログラム（予定）

10:00~10:10	ガイダンス
10:10~12:40	企業人材ニーズ説明
12:40~13:40	昼食
13:40~15:40	博士人材ポスター発表
15:40~17:50	企業ブース巡回
18:00~19:30	情報交換会

参加申込・詳細

下記サイトより事前申込要

申込期限：

5月7日（月）正午



<http://pcoms.issp.u-tokyo.ac.jp/events/eventsfolder/jinzai2018>

参画企業

研究インターン受入可能

出光興産株式会社	株式会社日産アーク
京セラ株式会社	日本ゼオン株式会社
新日鐵住金株式会社	日本電気株式会社
住友電気工業株式会社	パナソニック株式会社
東レ株式会社	株式会社富士通研究所
トヨタ自動車株式会社	三菱ケミカル株式会社
東京エレクトロン株式会社	株式会社村田製作所

■主催：東京大学物性研究所計算物質科学人材育成コンソーシアム（PCoMS）

■協賛：東京大学新領域創成科学研究科（予定）
東京大学理学系研究科物理学専攻（予定）
東京大学フロンティアサイエンス・リーディング大学院（ALPS）
東京大学統合物質科学リーダー養成プログラム（MERIT）
東京大学計算科学アライアンス

■お問い合わせ：東京大学物性研究所計算物質科学研究センター
PCoMS支援室 担当：古宇田/有馬

☎04-7136-3279 ✉adm-office@cms-initiative.jp

MERITおよびALPSコース生の方へ
当事業が推進するインターンシップに参加することで、コース修了要件の選択必修項目である、【企業インターンシップ】に認定されます。

平成30年度PCoMSイノベーション創出人材育成事業
インターンシップ実施テーマ一覧

企業名	受入人数	実施時期	研修期間	実施部門	実施テーマ	必須スキル・知識
出光興産株式会社	2名(最大)	通年	2ヶ月程度 ※調整可能	先進技術研究所	製造、化合物データと製品(分析、解析)のデータとの関連性	数理統計、機器分析
京セラ株式会社	調整中					
新日鐵住金株式会社	2名(最大)	通年 (要相談)	2ヶ月程度	基礎基盤研究部門	計算材料科学と情報科学の融合による材料物性の予測	計算材料科学の経験
住友電気工業株式会社	1名	10月以降	2ヶ月程度	解析技術研究センター	・機械学習を活用した原子間ポテンシャルの構築、 ・混晶材料のバンド構造計算手法の構築 ・相安定性の予測手法の構築	第一原理計算
東京エレクトロン株式会社	調整中					
東レ株式会社	1名	秋(委細相談)	2ヶ月程度	先端材料研究所(滋賀)	実在系の化学反応解析, 触媒設計など	・第一原理計算, 量子化学計算による化学反応解析 ・Python, perl等のスクリプト言語による解析自動化スキルがあれば, さらに望ましい。
トヨタ自動車株式会社	1名	8月下旬～9月下旬	4週間	材料技術分野	次世代自動車(燃料電池、電気自動車)に適用を検討している各種の機能性エレクトロニクス材料について、物性物理、理論化学、若しくは情報科学に基づく理論解析(第一原理計算、および各種のシミュレーション)を実施し、材料デザインの設計指針を創出する。	計算材料科学に関連した研究に携わった経験があること。(第一原理計算、量子化学、分子動力学、分子シミュレーション等)
株式会社日産アーク	1名	10月～12月が望ましい	2ヶ月程度	デバイス解析部	電池・高分子・構造材料などのシミュレーション技術開発 大規模第一原理計算と計測の融合技術開発 マテリアルズインフォマティクス適用技術開発	計算科学に関する基礎知識
日本ゼオン株式会社	1名	通年	3ヶ月が望ましい(2ヶ月以上必須)	総合開発センター 基盤技術研究所	①成形加工に関わる構造解析 ②樹脂流動解析 ③マテリアルズインフォマティクス ④量子化学計算・第一原理計算・構造物性相関などのシミュレーション ⑤化学工学プロセスシミュレータによる各種状態推算等々	具体的テーマは個別相談しますが、自ら課題を設定出来る方
日本電気株式会社	各テーマ約1名	相談の上で設定	2ヶ月程度	NECデータサイエンス研究所・セキュリティ研究所・バイオメトリクス研究所・システムプラットフォーム研究所・研究企画部門など	弊社インターンシップ専用のサイトにて後日公開予定。多数のテーマがあります。	各テーマ毎に設定されています。
パナソニック株式会社	数名	9月、2月が中心 (通年で調整可)	2カ月を中心に調整可能	テクノロジーイノベーション本部	2018年度は今後調整 ※2017年度の例: 計算科学による光機能材料の設計と実験検証	2018年度は今後調整 2017年度の例: 第一原理計算あるいは量子化学計算に関する基礎知識
株式会社富士通研究所	数名	随時	2ヶ月程度	主に材料系シミュレーション部門	デジタルアニーラ(新アーキテクチャコンピュータ)を利用した問題解決、マテリアルズ・インフォマティクス関連技術、物質・材料系シミュレーション(要望があればそれ以外も検討可能)	・物質・材料系のシミュレーションに関する基礎知識 ・基本的なプログラミング技術 ・インフォマティクス関連の知識があれば尚良いが必須ではない
三菱ケミカル株式会社	1～2名	8月下旬～11月上旬	2ヶ月程度	横浜研究所(横浜市青葉区)	分子科学計算とデータ科学による材料物性予測技術の構築。 ・計算精度改善、及び検討スピード向上検討 ・解析しうる材料物性値の拡充	計算科学技術(分子動力学シミュレーション、量子化学計算等)もしくはデータ科学(機械学習手法など)を用いた研究経験を有する。 材料物性に関する知識があればなお可
株式会社村田製作所	1名	7～11月(年度末、繁忙期以外)	2ヶ月程度	技術・事業開発本部 新規技術センター 先端技術研究開発部	計算科学技術による様々な材料物性の理論的解析	・材料科学、材料工学、量子材料学の知識 ・材料計算科学プログラムの使用スキル ・Unix、Linuxの知識・スキル ・英語の学術・技術文章の読解力 ・実業務におけるコミュニケーション力